

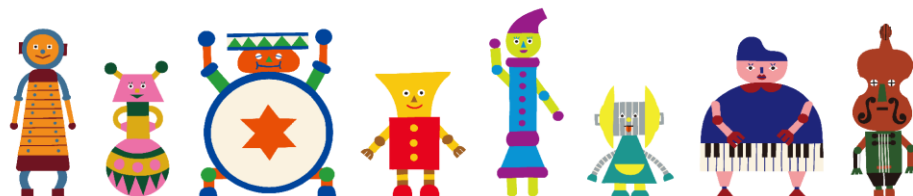


FOR THE FUTURE, FOR THE CHILDREN



病院と薬剤部の紹介

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
Saitama Children's Medical Center



For the future, for the children
(こどもたちの未来は、私たちの未来)



埼玉県立小児医療センターはどんな病院？

さいたま新都心駅より徒歩 5 分（雨の日も傘は不要）



隣の建物は連携しているさいたま赤十字病院



Key word
築5年・駅チカ5分



さいたまスーパーアリーナから見た病院の全景



冬季の、たまアリ・けやきひろばのライトアップ





病院の使命・役割

Key word

高度医療・政策医療

- 全国に **14** 施設ある 小児専門病院 のひとつ
埼玉県における小児の 高度医療 と 政策医療 を担う
運営の4つの柱

- ① 専門医療
- ② 保健
- ③ 発達支援
- ④ 教育



総合周産期母子医療センター
小児救命救急医療センター
移植センター（生体肝移植）
小児がん拠点病院
がんゲノム医療連携病院
災害拠点病院
小児三次医療機関





病院機能と患者特性

- 病院の機能 = **小児の総合病院（DPC病院）**
病院機能評価3rdG（ver.2）認証

- **高度急性期病院**

周産期医療・救急医療への対応（**1/3が集中治療病床**）

病床数（316床）

病棟数（11病棟）

NICU・GCU・PICU・HCUで106床

手術室（7室）

Key word
高度急性期病院

Key word
こどもの成長と発達

- 患者の特性 = 地域の小児科とは対象患者（疾患）が異なる
新生児（500g前後）～**0から10歳**～40歳代

小児期特有の疾患（稀少疾患など）

原疾患にともなう合併症を有する患者が多い（複数科の受診）

年齢相当の成長・発達段階に達していない患者も多い

小児の総合病院です。





薬剤部の目的と業務内容

Key word
小児薬物療法

- 目的：**小児薬物療法の安全と適正化に責任を持つ**
- 職員数：常勤薬剤師**22名**、非常勤薬剤師 2 名
男:女=8:14（副部長 1、副技師長 2、**主任10、技師 9**）
非薬剤師 3 名、SPD 5名
- 勤務体制：**二交代勤務**（夜間休日 は 1 名、平日の日勤は約16名）
- 薬剤部の業務
調剤（処方・注射）、院内製剤（無菌製剤）、医薬品情報、
薬品管理（発注・在庫管理）、薬剤管理指導業務（服薬指導）
病棟薬剤業務（4 か所の病棟で実施中▶増員計画あり）
チーム医療（ICT・NST・PCT・褥瘡）
治験薬管理業務（年間で約50件）
試験・検査（TDM・投与設計・院内測定）





業務の特徴

小児 = 『Therapeutic Orphan』

医薬品の70%は小児の治療に不十分

Key word
不足する情報・剤形

Key word
多様な薬物療法

- 調剤業務（こどもの**成長・発達** ▶ **複数の剤形や規格**）
散剤が多く、**年齢**や**体重**、**発達段階**に応じた調剤
小児用剤形がない場合は錠剤粉碎などの**剤形破壊**を行う
- 注射業務（医薬品の一部を使用 ▶ **微量かつ精密な操作**）
投与量や投与速度、併用薬、溶解・希釈方法まで確認
抗がん剤・IVHは、**mg・mL単位**での**無菌操作**
- 医薬品情報業務（**小児の情報は少ない** ▶ **Off Labelの治療**）
小児薬物療法に関する**情報収集**と**評価**、**利活用**に取り組む
- 病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務、チーム医療
集中治療・**小児がん**病棟で病棟薬剤業務を実施中

小児の薬物療法には特徴がたくさんあるよ。





薬剤業務の実際

6 台の散薬分包機がフル稼働！



持参薬確認とおくすり相談



ただ今、問い合わせに対応中



カート交換による注射薬の払い出し



無菌室での中心静脈栄養輸液のミキシング



ハザードルームでの抗がん剤のミキシング



埼玉県立小児医療センターの魅力

Key word
専門性・長期勤務

● 他で経験できない高い知識や技術を得る

高度・専門医療

最新の設備

多彩な医療従事者

専門認定取得の支援

地域医療との連携

▶ **最新の薬物療法の知識や技術**

▶ 仕事に集中できる環境

▶ **他職種とのコミュニケーション形成**

▶ 小児薬物療法に関するキャリア形成

▶ 地域との情報共有・交流

● 働きやすい勤務環境 = 長期的な視点で医療に貢献する

安定した組織

長期的な仕事ができる

子育て世代が多い

子育てが仕事に役立つ

異動や休暇制度の活用

経済的な安定性

駅チカ（徒歩5分）

▶ **離職率が低い**

▶ **仕事の立案から実施まで関与**

▶ 休暇を取得しやすい環境

▶ 医薬品情報や小児の服薬指導に活用

▶ **ライフイベントに応じた働き方の選択**

▶ ライフデザインを立てやすい

▶ **通勤の負担が少ない**





【予告】薬剤業務体験会情報

第2回『薬学生のための小児薬物療法 1 日体験コース』

実務実習ではあまり経験する機会が少ない小児の薬物療法について、講義と実地体験、現場で勤務している薬剤師とのディスカッションを通じて深掘りします。

- 開催日時 **令和5年2月中旬～3月中旬（予定）**
詳細が決まりましたらwebページでお知らせします
- 開催場所 **埼玉県立小児医療センター（薬剤部内）**
- 募集人数 **12名（原則として薬学部5年生）**
- 申込方法 **小児医療センターのwebページで公開中**

小児病院の薬剤業務に興味のある方をお待ちしています。

埼玉県立小児医療センター 🔍

https://www.saitama-pho.jp/scm-c/shokai/shinryo/yakuzai/yakugakusei_shakaijin.html





興味のある人は、病院見学をどうぞ。

**見学を希望する方は、訪問日を予約してください。
見学だけでなく、職員との情報交換も可能です。**

見学を希望する日をいくつか用意し、ホームページの問い合わせフォームから申し込んでください。

https://www.saitama-pho.jp/scm-c/shokai/shinryo/yakuzai/yakugakusei_shakaijin.html

※埼玉県立小児医療センター > 各部門の紹介 > 薬剤部 > 実習生と就活生・社会人の方へ



地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター 薬剤部
さいたま市中央区新都心 1-2

TEL 048-601-2200 (内線2600)
FAX 048-601-2213 (薬剤部直通)

皆さまからの
ご連絡をお待
ちしています。

